



# 根堀台だより

平成29年11月1日

第 69 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

## 校内駅伝大会 41回目の櫓を繋ぐ



〇〇さん・〇〇さんの宣誓

10月29日(日)、台風22号の接近に伴い、生憎の空模様でしたが、「第41回ゆりまつり協賛校内駅伝大会」を開催しました。今年も昨年同様、地区消防団の皆さんの参加とご協力のお陰で、4チーム対抗の大会を行うことができました。

開会式では〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんが全校生徒を代表して選手宣誓を行いました。2人の言葉の端々に中学校生活最後の駅伝大会にかける3年生の思いが込められていました。



白熱のレース展開

開会式終了後、すぐに選手の移動となっていました。この日は気温が低かったこともあり、一旦教室に戻り、暖を取らせ、8時半からバスでの移動を始めました。

移動後も雨がやみませんでした。競技開始は予定通り9時半にスタートを切りました。今回は1区から余り差がつかず、途中までは3年生と2年生が順位を入れ替えしながら先頭を競うレース展開となり、沿道の皆さんから「負けるな」「頑張れ」「抜かせ」など、大変熱いご声援を頂きました。



小菅野の「心臓破りの坂」で3年生が底力を発揮し、差を大きくしましたが、2年生も、1年生も決してあきらめることなく全力で走り抜き、櫓を繋ぎました。優勝した3年生は1時間11分14秒、準優勝の2年生は1時間13分2秒と差は2分を切っていました。また、初出場の1年生は1時間18分34秒で例年の1年生よりも早かったように思います。

今回も消防団の皆さんの参加により、レース前半は生徒の首位を脅かす走りや、「親子対決」の区間もあつたりと、大いに大会を盛り上げて下さいました。雨にもかかわらず、沿道で手を振る方々の数も多く、中には「青鬼」のコスプレで応援している人もいて大変驚きました。雨の中でのレースでしたが、選手も、係員も、地域の方々も、「チーム由利中心ひとつに」駅伝大会を成功させることができ、本当に感動しました。

「少子化」により存続の危機にあった「駅伝大会」ですが、学校、保護者、関係機関、消防団、地域の皆さんと「共催」することで継続していくことが、地域全体の「共存」につながるものと確信しています。何よりもこの「駅伝大会」を通して、由利地域に子どもたちの「笑顔」と「元気」を発信することができたことを大変嬉しく、誇りに思います。沢山のご支援・ご協力、そして熱い応援、本当にありがとうございました。

◎総合成績

優勝 3 A 準優勝 2 A 第3位 1 A

特別賞 由利地区消防団

◎区間賞

1区	3 A ○○	○○ (8分59秒)	3年連続区間賞
2区	2 A ○○	○○ (5分31秒)	
3区	2 A ○○	○○ (6分12秒)	
4区	2 A ○○	○○ (5分07秒)	2年連続区間賞
5区	3 A ○○	○○ (5分44秒)	
6区	2 A ○○	○ (3分17秒)	2年連続区間賞
7区	3 A ○○	○○ (5分25秒)	2年連続区間賞
8区	3 A ○○	○○ (6分55秒)	2年連続区間賞
9区	1 A ○○	○○ (5分04秒)	
10区	2 A ○○	○ (5分22秒)	
11区	3 A ○○○○○	○○ (4分34秒)	3年連続区間賞
12区	3 A ○○	○○ (7分46秒)	2年連続区間賞



消防団の皆さんに特別賞を



子どもたちには賞状を

# さようなら○○○先生



代表は○○さん○○○さん

10月31日(火)に、○○○先生の離任式を行いました。○○○先生は平成26年10月から、文科省指定「英語教育強化地域拠点事業」の推進に当たり、由利の子どもたちの英語力の向上ためにご指導をお願いし、ご勤務頂きました。

○○○先生の卓越した指導力とユーモア溢れる温かな授業で、英語が好きになった生徒も沢山います。○○○先生は市内にお住まいなので、もし会う機会があれば英語

で話しかけて下さい。4年間のご指導、本当にありがとうございました。